

## E8 エミュレータソフトウェア V.2.09 Release 00 への リビジョンアップのお知らせ

M16CおよびH8ファミリ用オンチップデバッグエミュレータE8のエミュレータソフトウェアをV.2.08 Release 00 からV.2.09 Release 00 にリビジョンアップしました。

### 1. リビジョンアップ内容

#### 1.1 リビジョンアップしたエミュレータデバッグ

E8エミュレータソフトウェア V.2.09 Release 00に含まれるデバッグを以下のとおりリビジョンアップしました。

- R8C/Tiny E8エミュレータデバッグ V.2.05.00
- M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバッグ V.2.01.00
- M32C/80 E8エミュレータデバッグ V.2.01.00
- H8/300H Tiny, H8/300H Super Low Power, H8/300L Super Low Power E8 エミュレータデバッグ V.1.03.00

#### 1.2 サポートMCUの追加

デバッグ対象のMCUとして、以下のMCUを新たに追加しました。

- (1) R8C/Tinyシリーズ
  - R8C/20グループ : R5F21208
  - R8C/21グループ : R5F21218
  - R8C/22グループ : R5F21228
  - R8C/23グループ : R5F21238
  - R8C/24グループ : R5F21245, R5F21247 および R5F21248
  - R8C/25グループ : R5F21255, R5F21257 および R5F21258
  - R8C/26グループ : R5F21262, R5F21264, R5F21265 および R5F21266
  - R8C/27グループ : R5F21272, R5F21274, R5F21275 および R5F21276

R8C/28グループ : R5F21282 および R5F21284

R8C/29グループ : R5F21292 および R5F21294

- (2) M16C/Tinyシリーズ  
M16C/26Aグループ : M30263F3, M30263F6 および  
M30263F8
- (3) M16C/60シリーズ  
M16C/62Pグループ: M30627FJP, M3062AFC,  
M3062CF8, M3062JFH およびM3062LFGP
- (4) M32C/80シリーズ  
M32C/87グループ : M30873FH, M30875FH,  
M30876FJ, M30878FJ, M30879FKおよび M3087BFK
- (5) H8/300H Super Low Power シリーズ  
H8/38099グループ : H8/38099F および H8/38799F

### 1.3 統合開発環境 High-performance Embedded Workshopのアップデート

同梱しているHigh-performance Embedded Workshopを  
V.4.00.03 から V.4.01.01 へアップデートしました。

リビジョンアップ内容については以下のツールニュースを参照く  
ださい。

- 2006年7月1日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 :  
060701/tn1 統合開発環境 High-performance Embedded  
Workshop V.4.01.00への リビジョンアップのお知らせ
- 2005年8月1日発行 RENESAS TOOL NEWS 資料番号 :  
060801/tn1 統合開発環境 High-performance Embedded  
Workshop V.4.01.01への リビジョンアップのお知らせ

### 1.4 機能変更および追加機能

#### 1.4.1 デバッグ共通

- (1) エミュレータ設定ダイアログボックスの表示を  
日本語化しました。
- (2) エミュレータ設定ダイアログボックスに表示さ  
れる3つの起動モード名を以下のように変更し  
ました。

変更後	変更前
フラッシュメモリ データを消去して起 動	Download emulator firmware
フラッシュメモリ	Does not download

データを保持して起動	emulator firmware
フラッシュメモリデータの書込み	Writing Flash memory

#### 1.4.2 R8C/Tiny E8エミュレータデバッガ、M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバッガおよび M32C/80 E8エミュレータデバッガ

- (1) プロジェクトワークスペース作成後、初めてエミュレータデバッガから E8に接続する際に表示されるエミュレータ設定ダイアログボックスをウィザード形式に変更しました。2回目以降はダイアログ形式で表示されます。
- (2) 「フラッシュメモリデータを保持して起動（旧 Dose not download emulator firmware）」モードの仕様を変更しました。  
「フラッシュメモリデータを保持して起動」はフラッシュメモリのデータを保持した状態でデバッグを開始するモードです。  
従来、このモードを使用する場合、デバッガ接続時にファームウェアがMCUの内蔵フラッシュメモリにあらかじめ書き込まれている必要がありました。そのため、ファームウェアを書き込まないフラッシュメモリデータの書込み (Writing Flash memory)モード使用等の直後ではこのモードを使用することができませんでした。  
今回の仕様変更では、ファームウェアがMCUの内蔵フラッシュメモリに書き込まれているか否かに関わらず、デバッガがファームウェアだけをMCUの内蔵フラッシュメモリに書き込みます。これにより、ファームウェアがMCUの内蔵フラッシュメモリに書き込まれていない状態でも、フラッシュメモリの内容を消去せずにデバッグを再開するこのモードを使用することができます。
- (3) IDコード確認ダイアログボックスでASCIIコードでの入力を可能としました。
- (4) 「フラッシュメモリデータの書込み」モードでの書込み終了後に表示されるメッセージダイア

ログにIDコードの表示を追加しました。

#### 1.4.3 R8C/Tiny E8エミュレータデバugg

- (1) エミュレータ設定ダイアログボックスの通信ボーレートタブで、MCUとE8間の通信ボーレートを変更できるようにしました。

#### 1.4.4 M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバugg、M32C/80 E8エミュレータデバugg および H8/300H Tiny, H8/300H Super Low Power, H8/300L Super Low Power E8エミュレータデバugg

- (1) エミュレータデバuggからE8に接続する時に表示される複数のダイアログボックスを1つにまとめました。
- (2) メモリ拡張モードでのデバugg時、通常のメモリアクセスで書き換え可能な外部空間へのソフトウェアブレイクポイントの設定が可能になりました。(M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバuggおよびM32C/80 E8エミュレータデバuggのみ)
- (3) ルネサス製uITORN仕様準拠リアルタイムOSの状態を表示するMRウィンドウをサポートしました。(M16C/Tiny, M16C/62P E8エミュレータデバuggおよびM32C/80 E8エミュレータデバuggのみ)

### 1.5 改修内容

以下の問題を改修しました。

- (1) ウォッチドッグタイマを用いたプログラムをデバuggする際の注意事項 およびユーザシステムからリセット入力する際の注意事項
- (2) R8C/Tiny E8 エミュレータデバugg起動時に発生する"Communication Timeout Error"について

## 2. 「E8エミュレータからターゲットシステムを取り外した状態でプログラムを動作させる際の注意事項」の改修について

以下のRENESAS TOOL NEWSでお知らせした問題については改修しません。

上記のニュースで示した回避策を実施してください。

Download emulator firmwareまたはDose not download emulator firmware モードでデバッグした後、E8をユーザシステムから取り外した状態で ユーザプログラムを実行する場合、ユーザプログラムが動作する前にエミュレータ用プログラムが動作するため、動作タイミングおよびレジスタの初期状態などがユーザプログラムのみをデバッガの「フラッシュメモリデータの書込み (旧Writing Flash memory) 」モードやフラッシュプログラムなどで書き込んで動作させる場合と異なります。このため、この状態で最終評価をされた場合、これらの相違によりプログラムの問題を見逃す危険性があります。

回避策で示した方法で最終評価をおこなってください。

なお、本バージョンでは「フラッシュメモリデータを消去して起動 (旧Download emulator firmware)」または「フラッシュメモリデータを保持して起動(旧Dose not download emulator firmware)」モードでデバッグした後、E8をユーザシステムから取り外した状態でユーザプログラムを実行する場合、ユーザプログラムには移行せず、ファームウェア中でコマンド待ち状態となるように仕様を変更しました。

このため、この状態ではユーザプログラムは動作しません。

### 3. アップデート方法

オンラインアップデート(無償)が可能です。

以下のページからアップデートプログラムをダウンロードして実行してください。

日本語版 (ダウンロード停止中です。しばらくお待ちください。)

英語版 (ダウンロード停止中です。しばらくお待ちください。)

#### 注意 :

1. アップデートプログラムはフルパッケージ版とデバッガパッケージ版があります。  
フルパッケージ版は、E8エミュレータデバッガ、統合開発環境 High-performance Embedded Workshop、Cコンパイラパッケージ無償評価版、ユーザズマニュアル、およびオートアップデートユーティリティが同梱されています。  
デバッガパッケージ版は、E8エミュレータデバッガおよび High-performance Embedded Workshopのみです。
2. アップデートすると、High-performance Embedded Workshop V.4.00.03 以前のバージョンがインストールされている環境では、V.4.01.01にリビジョンアップされます。

---

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.